

【校訓】 自ら学び 互いにみがこう	学校教育目標
	「自分の可能性を信じ、自ら学び、自ら鍛える生徒の育成」
	道徳教育の重点目標
	1 いじめを絶対に許さない態度を育成する 2 自らの生き方を考え、進んで行動する態度を育成する 3 思いやりの心や感謝の気持ち、責任感を持ち、協力しあう態度を育成する 4 自他の生命を尊重し、弱いものをいたわり、美しいものに感動する豊かな心を育てる
	道徳教育研究主題
	考え、議論する道徳授業の実践

学 年 別 重 点 目 標		
第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年
1. 基本的な生活習慣を身に付け、自己実現に向けて、努力する態度を養う 2. 互いを認め合い、助け合うことにより、望ましい人間関係を育てる 3. 互いの生命を大切にし、思いやりの心を育てる	1. 中堅学年として自覚を持ち、基本的な生活習慣を確立する 2. 自ら考え、意欲的に進んで行動する態度を養う 3. 互いを認め合い助け合う、思いやりの心を育てる	1. 最上級生としての役割と責任を自覚し、自ら進んで実行する態度を育てる 2. 進路指導の充実を目指し、将来の生き方について考えさせる 3. ボランティア活動を推進し、勤労・奉仕、思いやりの心を育てる

教 科 指 導 <ul style="list-style-type: none"> 各教科の目標を達成する。 各教科の内容に即した道徳性の啓発をする。 道徳指導目標及び計画との有機的な関連指導をする。 「新しい道徳」（教科書）の活用 	道 徳 の 時 間 <ul style="list-style-type: none"> ○人間としての生き方について自覚を深めさせる道徳の授業の実践 内面に根ざした道徳性を育てる。 実践意欲を高める指導法の工夫 「新しい道徳」（教科書）の活用 	特 別 活 動 <ul style="list-style-type: none"> ①学級活動 <ul style="list-style-type: none"> 健全な生活態度の育成、基本的な生活習慣の定着、望ましい人間関係の構築を通じて道徳的実践意欲と態度を育てる。 生徒の自己実現を目指し、自主的・協力的活動の機会を道徳的実践の場とする。 「新しい道徳」（教科書）の活用 ②生徒会活動 <ul style="list-style-type: none"> 生徒の自発的・自律的な活動を通して、学校生活の充実や改善 向上を図り、道徳実践の場とする。 ③学校行事 <ul style="list-style-type: none"> 行事への参加を通して、創意を生かした自主的・実践的意欲と態度を育てるとともに、協力・責任・勤労の大切さを体得させる。
	家 庭 ・ 地 域 <ul style="list-style-type: none"> 意見を収集し、保護者や地域の人々の意識や関心を高める。 広報活動を充実させ、共通理解を深め、さらに教育力を高める。 保育園・幼稚園・小学校との連携を深め、一貫した道徳性を養う。 地域の方をGTとして迎えるなど、地域との連携を図りながら教育力を高める。 (「新しい道徳」教科書の周知広報) 	人権同和教育 <ul style="list-style-type: none"> 互いを認め合い、人権を尊重する人間関係を構築する。 「新しい道徳」（教科書）の活用
	環 境 の 整 備 <ul style="list-style-type: none"> 人的環境の醸成 生きた掲示教育の充実と整備 	